

JISA ビジネス委員会「菊澤研宗氏によるハイブリッド講義」開催



令和3年10月28日、ビジネス委員会（委員長：舩越真樹（株）IDホールディングス 代表取締役社長）では、委員会活動の議論に資するため、「ダイナミック・ケイパビリティとDX」をテーマに、同委員会アドバイザーの菊澤研宗氏（慶應義塾大学商学部教授）を講師としたハイブリッド講義を開催した。参加者は、JISA 会議室参加15名、オンライン参加9名、合計24名。

冒頭、舩越委員長より、「本日は、菊澤先生が本委員会の趣旨を踏まえてダイナミック・ケイパビリティの話をしてくださる。メンバーの意識を揃えた上で今後の委員会活動を進めていきたい。」と挨拶があった。

講義は、ダイナミック・ケイパビリティ論の概説、ダイナミック・ケイパビリティ論とDXの関係、経済産業省「DXレポート2.1」で示された「デジタル産業を目指す企業の3つのジレンマ」（「危機感のジレンマ」「人材育成のジレンマ」「ビジネスのジレンマ」）を解決するためのヒントと問題提起の流れで行われた。

菊澤氏は、ビジネスのジレンマについて、ベンダとユーザの多元的な関係を「取引コスト理論」を用いて展開した。また、ダイナミック・ケイパビリティ論を通じて、企業経営におけるオーケストレーション（既存の資産を再構築・再配置・再利用して個の総和より大きい全体性を形成すること）の重要性と育成した人材・優秀な人材を惹きつける魅力あるマネジメントの必要性を強調した。

質疑応答の時間では、現地やオンラインから様々な質問があり、テーマへの理解を深め、今後の活動の筋道として同委員会で検討を深めることを共有した。

（ビジネス委員会事務局）